



# 管内の教育

所報 89号

## 主な内容

- 1 所長所感「教育事務所の体制見直しについて」
- 2 今年度の学校訪問指導を振り返って
- 3 各指定校事業の成果
- 4 来年度の学校訪問指導及び研修会等の予定

出雲教育事務所  
令和6年3月

## 教育事務所の体制見直しについて

今年度も残りわずかとなり、この所報が皆様の届く頃は今年度の締めくくり、来年度の準備を同時にしていくという、最も忙しい時期かと思えます。また、年度末には多くの方々との別れの時期でもあります。教職から離られる方、新たな学校へ異動される方々など、今まで管内の教育を支えてくださった皆様に、これまでの長い間のご尽力に敬意を表し、心より感謝申し上げます。

さて、今まで各学校での教育活動に微力ながら関わっていた出雲教育事務所ですが、来年度に向けて大きな変化がありますのでお知らせします。

学校教育スタッフは、**今年度は7名体制**でしたが、**来年度は3名体制**となります。削減数は異なりますが、県内の隠岐地区を除く4つの教育事務所で同様な体制の変化があります。教育事務所で削減した人員の一部を教育センターに集約し、研修と指導の強化を図ります。

なぜ、このような見直しを行ったのか。まず、背景から説明します。

近年、深刻な教員不足の状況が続いていることが大きな要因です。不足する学校では、教職員の方々に大きな負担をおかけしていることになっています。教員欠員ですが、R1:9名 R2:14名 R3:24名 R4:24 R5:27(年度当初・小中 県全体)となっています。この他、小中学校においては、常勤の代わりに非常勤を配置する学校が多数存在しています。県全体での非常勤の配置数はR5:小115中40(R1:小9、中1)となっています。

県教育委員会では、教員不足の解消を目指して市町村教育委員会等の協力を得て、志願者増のための教員採用の強化、再任用の積極的任用(60歳以上の働き方の選択肢増:管理職の再任用等)などを展開しています。(紙面の都合で詳細をお伝えできませんが、様々な取組をしています)

今回の教育事務所と教育センターの配置合理化も教員確保の取組のひとつです。一人でも多くの教員に学

## 出雲教育事務所 所長 三原 久義

校で勤務してもらうことで、教員不足の解消に繋げるものです。

そこで、配置合理化に伴う対応の主なものについて説明します。

### 各学校の研修の充実

(管理職対象)

悉皆の学校運営実践研修(校長)、学校運営実践研修(教頭)の研修内容を改善。

(研究主任対象)

教育センターの新任対象の研究主任研修を R6より悉皆研修へ変更。

### 人材育成型の教員配置

学力向上、生徒指導、特別支援教育に関して、60歳以上の経験豊かで知見のある教員を学校に配置。R14までに全県で20名強の配置を想定。

### 市町村・学校から要請される学校訪問指導の在り方の抜本的見直し

学校の実態や自主性を尊重し、教育事務所訪問指導の精選と重点化。**\*市町教委からの訪問は対象外**

### 初任者育成のための学校訪問等の見直し

教育センターを中心に、初任者への指導・支援は継続。

### 特別支援教育指導助言に係る組織体制の見直し

特別支援教育課に小・中学校籍の学校管理職級を配置。市町村・学校の特別支援教育の推進をよりサポートできるよう体制強化。

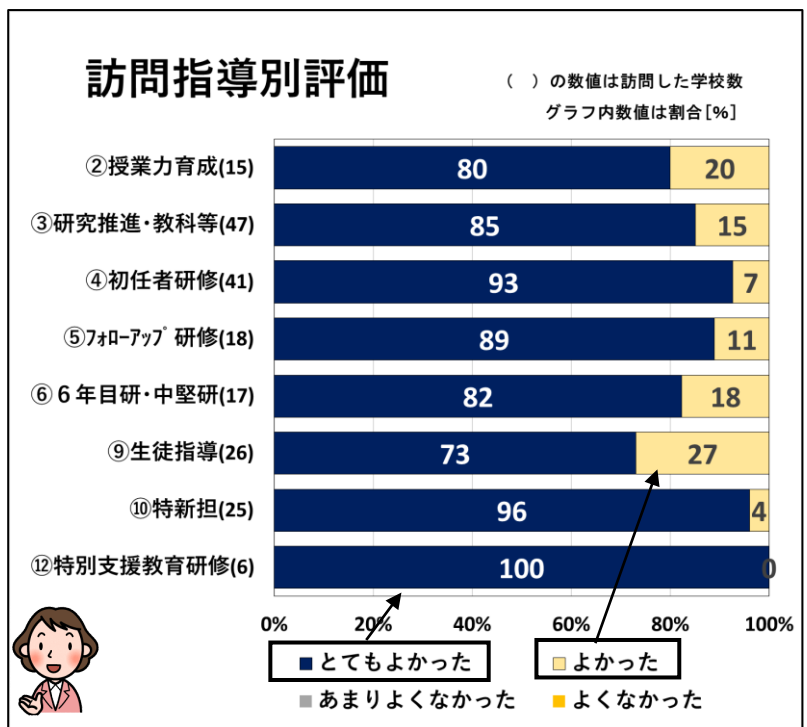
最後になりますが、十分な説明とはなりません。来年度に向けて各学校の準備もあるかと考え、今回のお知らせとさせていただきます。教員不足を少しでも緩和し、校長先生のリーダーシップのもと、教育活動の充実に努めることができるよう、今後も教育事務所としましても努力していきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 今年度の学校訪問指導を振り返って

今年度も様々な学校訪問指導で管内の全小・中学校を訪問させていただきました。学校に回答いただいたアンケート結果及び訪問時の様子を基に、今年度の学校訪問指導を振り返ります。**グラフ「訪問指導別評価」**が示すとおり、訪問した全ての学校から「とてもよかった」「よかった」という肯定的評価を受けました。この結果から、各学校の期待に概ね応えることができたと思っております。

## 研究推進・教科等指導の充実に向けて

研究推進等を目的とした「③研究推進・教科等指導に係る学校訪問指導」は多くの学校から申請があり、85%の学校から「とてもよかった」との評価を受けました。感想では「校内研究推進の機会となった。」「授業改善(学習のめあて・まとめ・振り返り、学習評価、ICT活用、カリキュラム・マネジメント)に役立った。」という回答を得ました。事前の授業構想や学習指導案の作成・検討など、学校のニーズに応じた助言・指導を大切に、研究推進の方向性や成果と課題を共有できたと感じています。今後も継続的に学校を支援できる体制を整えていきたいと考えています。



## 人材育成・授業力育成の充実に向けて

「④初任者研修に係る学校訪問指導」「⑤フォローアップ研修に係る学校訪問指導」「⑥教職経験6年目研修・中堅教諭等資質向上研修に係る学校訪問指導」では、各学校において授業者の向上心を支える体制づくりがなされ、教材研究や学習指導案の検討等が協働的に進められていました。また、授業後に活発な協議が展開され、授業づくりや「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の視点などを確認できました。研修対象者の課題研究を窓口にして、学校の教職員全体が授業づくりや授業改善に関心をもち、実践力を高めていく契機となったようです。「②授業力育成に係る学校訪問指導」では、各校の校内研究推進への助言・指導及び授業改善に向けた「各教科等の指導の重点」や「授業チェックリスト」を活用した授業づくりへの支援を行いました。

学校訪問指導が校内研修の機会になり、授業力育成や人材育成の一助になったと捉えることができます。今後も授業づくりのねらいや課題研究に沿った助言指導により、人材育成や授業力育成の充実を図ります。

## 生徒指導の充実に向けて

「⑨生徒指導に係る学校訪問指導」は全ての中学校で実施しました。訪問を通して、生徒指導提要のポイントについて確認及び説明を行い、「生徒が自己指導能力を身に付けるための生徒指導の実践上の4つの視点」を重視した意見交換をすることができました。また、各校が様々な取組を工夫している様子やSCとSSWの活用状況を確認しました。「いじめ対応、いじめ防止基本方針を再確認する機会となった。」「生徒指導体制を再確認する機会となった。」という感想をいただきました。今後も「学習指導と生徒指導の一体化」という意識を深めていき、訪問を通じて各学校の生徒指導体制の一層の充実を図る契機になるよう努めます。

## 特別支援教育の充実に向けて

「⑩特別支援学級、通級指導教室新任担当教員に係る学校訪問指導」は25校で実施し、96%の学校から「とてもよかった」と高い評価を受けました。「特別支援教育について理解が深まった。」「児童生徒の実態把握や見立ての参考になった。」という感想もありました。特別支援教育支援専任教員との面談をとおして、事前に学校や先生方の困り感やニーズを把握することにより、具体化・焦点化を図った助言・指導につながったと考えています。「⑫特別支援教育の充実に向けた研修支援」は、希望校の要望により、通常の学級も含め、個や集団に対する支援について研修を行うことができました。

今後も、特別支援教育支援専任教員による相談を通して、各校の特別支援教育のよりよい支援体制構築のため、迅速に駆けつけ、より一層丁寧に支える所存です。是非、気軽にご相談ください。



# 各指定校事業の成果

## 「しまねの学力育成プロジェクト」事業

「しまねの学力育成推進プラン」策定を受け、児童生徒に確かな学力と学び続ける意欲を育む教育を推進するために「授業の質の充実」「家庭学習の充実」「地域に関わる学習の充実」を柱とした各種の取組を展開しています。令和4年度には「しまねの学力育成プロジェクト」事業を立ち上げ、当教育事務所管内では、出雲市立大津小学校・第一中学校と雲南市立大東小学校・大東中学校が指定を受け、今年度が2年目となります。

(取組の詳細は EIOS に掲載。右の二次元コードから閲覧可能)



### 出雲市(大津小学校・第一中学校)

#### (1)「第Ⅲ期出雲市学力向上推進プラン」に基づいた実践

出雲市では、『主体的・対話的で深い学び』を実現するための授業改善の組織的な推進』を重点に取り組みました。また児童生徒の学力向上を目指し、授業改善の研究及び研究成果の普及等をはじめとした学力向上推進の取組の拡充・充実を図りました。

#### (2)各校実践の様子(□研究主題・本年度の取組)

##### 【大津小学校】

- 問いをもち、仲間とともに、探究し続ける子どもの育成～「子どもの声をつなぐ授業づくり」をとおして～
  - ・ 授業公開や研修会を通して“子どもが問いをもち探究し続けるための発問の質”や“教師のコーディネート力”の育成を図りました。



##### 【第一中学校】

- 主体的に課題を見つけ、互いに高め合いながら、自ら考え行動する生徒の育成～ゴールを明確にし、意見や思いを表現する活動の充実～
  - ・ 表現活動の充実を目指した指導計画を立て、各教科部会で検討を重ね資質・能力の育成を図りました。



### 雲南市(大東小学校・大東中学校)

#### (1)「学力向上のための基本方針」

雲南市では、「子どもにとっても教師にとっても楽しい学校づくり」の一環として、昨年度に引き続き島根県立大学教授である齊藤一弥氏を招聘し、市全体での「能力ベースの授業づくり」の具現化について学び各モデル校で実践を行いました。

#### (2)具体的な取組

##### 【能力ベースの授業づくり研修会】

- ・ 小中学校の教員が集って、算数、数学の学習指導案づくりに取り組みました。「能力ベースの授業」とは、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、資質・能力を育成することを重視する、まさしく学習指導要領の主旨に基づく授業です。研修の後半には、他教科における見方・考え方を働かせた授業づくりについて、齊藤先生にご講義いただきました。



##### 【能力ベースに基づいた授業実践研修】

- ・ 大東小学校、大東中学校を会場に、これまで研修で学んだ能力ベースの考え方を基盤にした学習指導案により、授業実践を行いました。教科の見方・考え方を働かせ、そのプロセスを重視する子ども主体の授業が展開されました。

## 複式教育推進指定校事業 飯南町立志々小学校

島根県教育委員会では、複式学級における効果的な学年別指導について研究が深まるよう、県内の3校を指定校として複式教育推進指定校事業を実施しています。令和5年度は、飯南町立志々小学校が指定となり、11月16日(木)の飯石郡教育研究大会に合わせて、今年度の取組について発表がありました。

＜研究内容1＞複式学級の特徴を生かした指導方法の工夫や学習環境づくり

具体的な取組① ガイド学習の推進

具体的な取組② 主体的に学び合う環境づくり

＜研究内容2＞数学的な見方・考え方を働かせるための手立ての工夫

具体的な取組① 既習事項との関連

具体的な取組② 図や言葉を用いて説明する



高学年の授業では、ガイド役が中心となって授業が展開され(同時間接指導)、数学的な見方・考え方を働かせることができる既習事項の掲示や、一人一台端末の普段使いができるなどの学習環境づくりが行われていました。またここでの教師の姿は、「令和の日本型学校教育」に示されている『子どもの主体的な学びを支援する伴走者』でした。

本発表では、単式教育における「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現につながるものもたくさんありました。

令和4・5年度 島根県人権教育研究指定校より

雲南市立加茂中学校

本事業は、人権意識を培うための学校教育の在り方について、幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実を目指しています。

**(1)研究主題**

「つながりあい、ともに成長しようとする生徒の育成  
～人間関係づくり、集団づくりをとおして～」

「励ましと認め合う場面を取り入れた授業づくり」や「学級集団づくりや異学年との人間関係づくりなどの特別活動の充実」、「地域住民とのふれあいや地域貢献活動の充実」などに研究の視点をあて、「集団づくり」「授業づくり」「連携づくり」について仮説を立て、実践しました。

**(2)研究成果**

**【集団づくり】の取組の成果**

生徒同士のかかわりが増えることで、友だちの新たな一面を発見する楽しさや喜びを感じる姿が増えました。他者と話したり一緒に活動したりすることへの意義や価値を感じながら活動できるようになりました。

**【授業づくり】の取組の成果**

加茂中授業モデルを作成し、「わかった！できた！認められた！」と実感できる授業づくりをめざしました。全国・県の学力調査(意識調査)の結果から、自己肯定感の向上が見られました。学校評価や学校生活アンケートの「交流活動」に関する項目では、肯定的な回答の割合の増加も見られました。

**【連携づくり】の取組の成果**

地域の良さに改めて気づき、地域に対する思いを深めることにつながりました。また、他者とのかかわり方について考える機会が増え、日常生活のあらゆる活動が人権とかかわりがあることへの気づきとなりました。



令和6年度学校訪問指導の具体的取組

(1) 研究発表等の支援

- 県指定事業を中心とした指定校へ継続的に支援を実施
- 訪問は県教育センター、教育指導課他の指導主事が中心となって実施

(2) 初任者研修及び相談型学校訪問指導

- 県教育センター指導主事を中心に訪問指導を実施
- 研修対象者への計画的な継続指導や助言を実施するとともに、ニーズに応じて各機関と連携した人材育成に関する支援を実施

(3) 生徒指導に係る学校訪問指導

- 生徒指導の充実を目的に管内すべての中学校に計画的な訪問指導を実施
- 希望する小学校に対して、学校や学級担任等のニーズに応じた支援を実施

(4) 特別支援教育に係る相談支援

- 通常の学級、通級指導教室、特別支援学級での授業力の向上をめざした相談を実施
- 個に応じた配慮や理解教育等の相談を実施

(5) 幼小連携・接続に係る学校等への訪問指導

- 幼児教育センターと連携を図り、幼小連携・接続に係る推進体制づくりや接続期のカリキュラム作成等の相談及び研修を実施

島根県教育委員会による研修会等の予定

来年度の行事予定表に入れておいてください。

令和6年度研修会等	会場等	期日
教育施策説明会(小・中学校校長対象) ※出雲教育事務所管内	オンデマンド型	視聴期間5月下旬～6月上旬
小・中学校研究主任等研修	東部会場	4月25日(木)、1月16日(木)
生徒指導主任・主事等研修	出雲合同庁舎	5月23日(木)
人権教育担当主任等研修	出雲合同庁舎	6月18日(火)19日(水)
小・中学校等校長学校経営実践研修	東部会場	6月26日(水)
小・中学校等教頭学校運営実践研修	東部会場	9月11日(水)
小・中学校「総合的な学習の時間」研修	出雲合同庁舎	8月20日(火)

※上表は、現時点で予定する令和6年度の悉皆研修の内容です。